



J A 女性部家の光交流大会 共同学習を通じて部員同士が交流

レクリエーション体操をする参加者ら

J A 女性部は 11 月 21 日、南種子町福祉センターで家の光交流大会を開催しました。「家の光」の記事活用体験や文化交流などの情報交換を通じて、仲間とふれあい協同心を育むことを目的に毎年開催しています。

新型コロナの影響で昨年まではWEBでの開催でしたが、今年は3年ぶりとなる実開催となりました。



△手話を披露するフレッシュミズ

大会では「家の光」を活用した共同学習会や記事活用事例発表が行われました。学習会では、家の光協会の講師が部員と交流しながら、記事の活用方法やオスメの活動について話しました。また、J A 女性部フレッシュミズが手話で「上を向いて歩こう」を披露し、レクリエーション体操も行われ盛り上がりを見せました。

記事活用事例発表では、西之表支部の古田栄子さんと南種子支部の須賀聡美さん、南種子支部の大崎郁代さんが「家の光」の記事を活用した活動について発表。審査の結果、大崎さんが最優秀賞となりました。



△古田さん、大崎さん、須賀さん

大崎さんは「地域とつながる活動を」をテーマに地域とのふれあいの場を求めて女性部に入部したことや「家の光」の記事を活用した裁縫やお菓子作りで部員と交流したことで、コロナ後は密を避けた屋外での活動に切り替えたことや部員との交流、地域とのつながりについて話しました。

